

事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期における我が国経済は、米中貿易摩擦の長期化等による世界経済の減速を反映して力強さを欠きました。とりわけ、昨年10月の消費税引き上げ以降、増税前の駆け込み需要の反動や暖冬等により個人消費の動きは弱く、加えて新型コロナウイルスの感染症拡大による影響の深刻化は世界経済全体に大きな影響を与え、国内景気においてもマイナス成長に転ずる懸念が強まっております。

こうした状況の下、高蔵寺ニュータウンの良好な環境や価値の維持・向上を目指すエリアマネジメントを担う当社は、指定管理者業務としてグループふじとう（高蔵寺まなびと交流センター）及び高蔵寺駅北口自転車駐車場等の管理・運営にあたりました。グループふじとうにおいては、複合施設の魅力を更に高めるべく、新企画を含めイベントを多数開催し、賑わいの創出に努めてまいりました。本年1月に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月には図書館や児童館等が休館となりましたが、当期の施設利用者数は前期を上回りました。

また、住宅流通促進事業では賃貸住宅管理業務が軌道に乗り、受託事業では業務拡大により収益力の強化に努めてまいりました。この他、空き家を管理するサービスやDIYをサポートするサービスにも取り組んでまいりました。

以上の結果、当期の売上高は210,147千円（対前期比16,832千円増）、営業利益は13,526千円（同721千円増）、経常利益は13,536千円（同752千円増）、当期純利益は9,783千円（同705千円増）となりました。

(2) 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は1,812千円であります。

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

当期はグループふじとう等の指定管理者業務や受託事業に加え、経費などの節減により収益を計上することができました。新型コロナウイルス感染症流行の長期化の懸念から、経済の先行き不透明感は増しておりますが、今後は、グループふじとうの魅力をより広く情報発信すると共に、高蔵寺ニュータウンのエリアマネジメントに繋がる取り組みを意識しつつ、新たな収益事業に向けて積極的な営業企画を展開することで収益力強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 財産及び損益の状況

区 分	第1期 (H29. 10~H30. 3)	第2期 (H30. 4~H31. 3)	第3期 (H31. 4~R2. 3)
売 上 高 (千円)	7,920	193,314	210,147
経 常 利 益 (千円)	△2,257	12,783	13,536
当期純利益 (千円)	△2,333	9,078	9,783
1株当たり 当期純利益	△5,833円58銭	22,696円51銭	24,459円98銭
総 資 産 (千円)	19,211	69,076	63,935
純 資 産 (千円)	17,666	26,745	36,529

(6) 主要な事業内容

- ① 指定管理者事業
- ② 住宅流通促進事業
- ③ 受託事業
- ④ エリアマネジメント事業
- ⑤ 自主事業

(7) 従業員の状況

従 業 員 数	前期末比増減
7名	+1名

(注) 上記従業員数には出向社員1名を含みます。

(8) 主要な借入先

借入先名	借入金期末残高
株式会社大垣共立銀行	3,073千円

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数 8,000 株

(2) 発行済株式の総数 400 株

(3) 当事業年度末の株主数 10 名

(4) 主な株主の状況

株主名	持株数	持株比率
春日井市	株 201	% 50.2
春日井商工会議所	89	22.2
株式会社大垣共立銀行	20	5.0
その他 90 株		

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の状況

氏名	地位	重要な兼職の状況
加藤達也	代表取締役社長	春日井市 副市長
小林敏夫	常務取締役	
石川勇三	取締役	営業企画部長
山田眞平	取締役	春日井商工会議所 専務理事
林敬治	監査役	株式会社大垣共立銀行 常務取締役

貸借対照表

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	54,301	流動負債	23,424
現金及び預金	37,802	買掛金	10,522
売掛金	15,545	未払費用	4,371
仕掛品	739	未払法人税等	1,900
前払費用	196	未払消費税等	3,806
立替金	16	賞与引当金	1,703
		前受金	456
固定資産	9,633	預り金	664
有形固定資産	9,143		
建物	4,787	固定負債	3,981
建物附属設備	936	長期借入金	3,073
構築物	2,116	預り保証金	908
工具器具備品	1,303		
無形固定資産	262	負債合計	27,405
ソフトウェア	262	【純資産の部】	
投資その他の資産	227	資本金	20,000
長期前払費用	227	利益剰余金	16,529
		繰越利益剰余金	16,529
		株主資本合計	36,529
		純資産合計	36,529
資産合計	63,935	負債・純資産合計	63,935

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

〔平成31年 4月 1日から
令和 2年 3月31日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		210,147
売 上 原 価		131,577
売上総利益		78,569
販売費及び一般管理費		65,042
営業利益		13,526
営業外収益		
受取利息	0	
雑収入	58	58
営業外費用		
支払利息	49	49
経常利益		13,536
税引前当期純利益		13,536
法人税、住民税及び事業税		3,752
当 期 純 利 益		9,783

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益 剰余金	利 益 剰余金 合 計		
		繰越利益 剰余金			
当期首残高	20,000	6,745	6,745	26,745	26,745
当期変動額					
当期純利益		9,783	9,783	9,783	9,783
当期変動額合計		9,783	9,783	9,783	9,783
当期末残高	20,000	16,529	16,529	36,529	36,529

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の総数 400 株

監 査 報 告 書

第3期事業年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和2年5月28日

高蔵寺まちづくり株式会社

監 査 役 林 敬 治 ㊞

以 上